

# 兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2016 **11**

神谷 徹氏



甲南大学 知能情報学部 教授 灘本 明代氏



10月6日(休)兵庫県民会館において「2016年度 兵庫県生協大会」を開催。生協功労者表彰として「兵庫県知事感謝」、生協業務に精励した役職員に「兵協連会長表彰」が贈られたあと、「夢と未来」と題して、甲南大学知能情報学部 教授 灘本 明代氏より「漫才ロボット」～あいちゃんとゴン太の掛け合い～、神谷 徹氏による「ストーリーミュージック」～驚きと笑いのパフォーマンス～があり、会員生協の組合員、役職員など210人が集いました。(関連記事 P.3)



兵庫労働共済生活協同組合 専務理事  
兵庫県生活協同組合連合会 理事

西谷 圭一  
(にしたに・けいいち)

## 兵庫県生活協同組合連合会の 理事就任にあたって

この度、兵庫県生活協同組合連合会の理事に就任させていただきました。「兵庫労済の西谷」でございます。今回、このような執筆の機会を頂きましたので、これまでの経験ふまえて感じたことをご紹介したいと思います。

1980年4月に大阪労済（全労済大阪府本部）に入所以来、大阪労済・近畿地方事業本部・和歌山労済・中日本事業本部・愛知労済を経て、昨年の総代会にて兵庫労済に着任いたしました。この間、36年にわたり労働者自主福祉運動としての全労済運動と事業の業務に関わってまいりました。

今から約60年前に勤労者自らの手で立ち上げた労済運動は、組合員の「いのち」と「くらし」を守る運動としての事業を遂行してまいりました。この間、私が日常業務の中で大切にしてきたことは、「加入組合員」の皆様の信用・信頼を得ることです。

その為には、助け合いの輪を拡大する「加入促進活動」が必要であることが前提ではありますが、その前に、我々役員が日常的にお世話になる「協力組織（生協や労働組合など）」や「組合員」の方々に、事業発足時に先人が示された「利益追求」ではなくて、勤労者自らが生命や火災等の危険から個々の生活を守る社会保障制度（共済制度）を設立したことを、ご理解いた

だくことが必要だと感じるところです。未曾有の大災害である「阪神・淡路大震災」から21年、「東日本大震災」から5年が経過する中で、2016年4月14日および16日に「熊本地震」が発生して甚大な被害をもたらしました。「熊本地震」で被災された組合員の皆様には、迅速なお役立ち（共済金）をお届けすることを最優先に対応を図ってまいり、9月末現在では、37,333件・125億円の共済金をお支払いしました。

改めてこの節目に、私ども組織の理念「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」の実現に向けて、3つの信条「組合員の全労済」「正直な全労済」「努力の全労済」を行動規範として運動の意義を広く社会に発信して、いざという時に「無保障者」が一人もいない運動が実現できたらと感

じるところです。最後に、「団結」と「助け合い」の精神を持って、社会的期待の中1960年4月に設立された兵庫労働共済生活協同組合（全労済兵庫県本部）の運動の原点を見つめ直し、活動の継承に尽力する所存です。「組合員の全労済」にこれまで以上のご指導・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

### CONTENTS

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>2. 想点</li> <li>3. 2016年度「兵庫県生協大会」報告</li> <li>4. 第3回 理事会 報告／<br/>「保健・医療・福祉研究会」奈良「あすなら苑」研修 報告</li> <li>5. 単協通信 甲南大学生生活協同組合／<br/>兵庫 JCC「虹の仲間づくりカレッジ」報告</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>6. 協同組合のかけ橋</li> <li>7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓</li> <li>8. 兵協連「第1回 東日本被災地支援活動」報告／<br/>県連日誌／編集後記</li> </ul> |
|---|---|

2016  
年度

# 兵庫県生協大会を開催

テーマ

## 協同が息づく兵庫のまちづくり 協同組合がよりよい社会を築きます

10月6日(木)、兵庫県民会館において、2016年度兵庫県生協大会を開催。  
会員生協の組合員、役員など210人がつどいました。

●毎年10月は「生協強化月間」。全国の生協で「活動や事業について知っていただき、生協の輪を広げる」ための催しが行われています。

第一部記念式典は、甲南大学生協同組合専務理事内田真紀子さんの司会で始まり、主催者を代表して兵庫県生協連本田英一会長理事が挨拶。引き続き、ご来賓の兵庫県知事井戸敏三様よりご挨拶をいただき、最後に「一人一人の願い、協同で現実に、生協活動の」といふ歌で協同組合へエールを送られました。その後、神戸市市民参画推進局市民生活部長 桐井靖則様、兵庫県議会議長 藤田孝夫様より、それぞれ生協への期待をこめられたご祝辞をいただきました。続いておこなわれた表彰式では、永年生協の発展に寄与された3人の会員生協役員に生協功労者表彰として「兵庫県知事感謝」が贈られました。また、生協業務に

ネットから台本を自動生成する漫才ロボット「あいちゃん」と「ゴン太」について、甲南大学知能情報学部 教授 灘本明代氏より、講演いただきました。夢では、神谷 徹氏による、市販のストローで作られた愉快な動きや美しいハーモニイを奏する笛で、童謡など懐かしい歌の数々を演奏いただきました。また、会員医療生協による「健康チェック」や「公財」兵庫県健康財団」による健康づくりと疾病予防の取り組み、ロビーでは「兵庫県フェニックス共済」「兵庫労働共済生活協同組合」の共済紹介や、災害に使いながら備える「ローリングストック」の展示も行われ、多くの参加者でにぎわいました。

精励した21人の役員に「兵庫県生活協同組合連合会会長表彰」が贈られ、会場の参加者は大きな拍手で祝いました。



兵庫県 井戸 敏三 知事



神戸市 桐井 靖則 係長



兵庫県議会 藤田 孝夫 議長



「ストロームジック」神谷 徹 氏



甲南大学 知能情報学部 教授 灘本 明代 氏



医療生協による健康チェック

## 2016年度 兵庫県生協大会表彰

### ■兵庫県知事感謝

(順不同・敬称略)

所属生協	氏名
生活協同組合コープこうべ	木田 克也
ひまわり医療生活協同組合	三木岸 一郎
尼崎市民共済生活協同組合	小原伊乃枝

### ■兵庫県生協連合会会長表彰

(順不同・敬称略)

所属生協	氏名
生活協同組合コープこうべ	伊東 明
生活協同組合コープこうべ	長谷部 剛
生活協同組合コープこうべ	柏木 明
生活協同組合コープこうべ	畑 祐司
生活協同組合コープこうべ	横内 博次
生活協同組合コープこうべ	笠井 克真
生活協同組合コープこうべ	宮本 吉樹

所属生協	氏名
生活協同組合コープこうべ	吉村恵理子
生活協同組合コープこうべ	豊永 洋子
生活協同組合コープこうべ	佐々木恭子
神戸医療生活協同組合	吉田 彰
神戸医療生活協同組合	宮野 鶴生
神戸医療生活協同組合	多田 寿
尼崎医療生活協同組合	大澤 芳清
尼崎医療生活協同組合	瀬井 宏幸
尼崎医療生活協同組合	小林香代子
宝塚医療生活協同組合	新田 弘
ひまわり医療生活協同組合	中川 香
神戸市民生活協同組合	鹿田 裕子
姫路市民共済生活協同組合	黒川真一郎
兵庫労働共済生活協同組合	池澤 暢祐

## 2016年度 兵庫県生協連 第3回理事会報告

【開催日時】 2016年10月3日(月) 午後2時～3時40分

【開催会場】 兵庫県民会館 12階「1201」

【出席者】 本田会長理事、高橋副会長理事、野間専務理事、板崎、福島、新保、大沼、本多、藤井、岡田、西谷（以上、理事）、金丸、山添、岡村（以上、監事）

- 協議事項 (1) 2017年「新春トップセミナー・賀詞交換会（案）」について
- 報告事項 (1) 「分野別生協からの活動報告」各出席理事・監事より報告
- (2) 2016年度兵庫県生協大会（10月6日）について
- (3) 「ひょうごの生協2016」について
- (4) 2016年度「第1回東日本被災地支援ボランティア活動」について
- (5) 保健・医療・福祉研究会「社会福祉法人協同福祉会：あすなら苑」の研修会について
- (6) 第19回兵庫県・兵協連共催の監事研修会（案）について
- (7) 2016年度「近畿ブロック地方消費者フォーラム in ひょうご」（消費者庁主催）について
- (8) 2016年度「ひょうご消費者セミナー」について
- (9) 兵庫県の「南海トラフ地震を想定した各部局等の訓練実施」の報告
- (10) 大学生協の組織統合「関西北陸事業連合」関連について
- (11) 第28回近畿地区生協・行政合同会議について
- (12) 兵庫 JCC「第1回虹の仲間づくりカレッジ」について
- (13) その他（部会、委員会、研究会、日生協運営委員会等、直近の報告）
- (14) 前回理事会～10月3日までの兵協連行事・諸活動報告について
- (15) 2016年度兵協連主要行事スケジュール

### 保健・医療・福祉研究会 研修報告

## みんなが安心して暮らせる地域や町に

### ～「あすなら10の基本ケア」講座を学ぶ～

10月15日(土)・16日(日)、「保健・医療・福祉研究会」研修として、社会福祉法人 協同福祉会 特別養護老人ホーム「あすなら苑」（奈良県大和郡山市）、「あすなら10の基本ケア」講座に参加。兵協連会員生協の実務担当者など12名を含む、全国から47名が集いました。「保健・医療・福祉研究会」では、研究会メンバーによる生協における介護事業についての学習や情報交換を行っています。この講座は、研究会の取り組みのひとつとして、昨年度から実務力向上を目指すことを目的に参加しています。今年度は、実務力向上と今後の運営に役立てるため、参加対象者をケア実務担当者と上位者に範囲を広げて実施しました。

まず初めに、協同福祉会 理事長 村城 正 氏から、「これからの介護とケアの質について」と題して、在宅（地域）での介護を可能にするための取り組みをお話いただきました。また、常務理事 大國 康夫 氏からは、「あすなら10の基本ケア」（①換気をする②床に足をつけて椅子に座る③トイレに座る④あたたかい食事をする⑤家庭浴に入る⑥座って会話を⑦町内にお出かけをする⑧夢中になれることを⑨ケア会議をする⑩ターミナルケアをする）講座の意義について、お話いただきました。その後、チームに分かれて、感染を防ぐ嘔吐物の処理方法や起き上がり、尻上げ体操、三角移乗、トイレ移乗などの実習を繰り返し行いました。2日目は、あすなら苑や併設の保育園を見学。午後からは、生活の中での動作をスムーズに行うためのゲーム・リハビリ体操や、入浴（家庭浴）介助実習を行いました。参加者は、利用者一人ひとりの出来ることを増やすスタッフのきめ細やかなサポート体制や、経験を通して常に進化し続ける「基本ケア」などに感銘を受けました。「人間の自然な動きを損なわない、利用者の力を引き出す生活リハビリの素晴らしさを実感しました」「チームワークの良さを様々な場面で感じました。できることから取り入れていきたい」などの声が寄せられました。



村城理事長 講義



入浴介助実習



起き上がり、下腹筋力をつけるリハビリを学びました

### 全体研修を開催しました

2016年9月6日(火)甲南大学5号館のカフェパンセにて、「甲南大学生協 全体研修」を開催しました。

参加対象は、甲南大学生協 全職員、全スタッフです。夏休み期間ではありますが、生協営業日ですので、店舗出勤スタッフと研修参加者に分かれ、研修参加者は85名でした。

最初は、内田専務から2016年度上半期到達状況や来年9月竣工予定の新施設「iCommons」の説明がありました。スタッフの情報共有を目指しています。

次に、8月24日から25日に行った岡本3校合同研修合宿の報告がありました。

今年度は、松山大学と愛媛大学を見学させていただきました。甲南・甲南女子・神戸薬科の3大学生協から45名が参加し、松山大・愛媛大両生協で学んだこと・感じたこと・今後こだわりたいことの報告集を今回の全体研修の資料としました。



次に、甲南大学経営学部の西村先生によるマーケティングの講演を聞かせていただきました。本格的なマネジメントの内容を身近な例で、とても分かりやすく講演していただきました。組合員の声をしっかりと受け止める為の基礎力を養うことを目的とし、生協で働くことの意味を改めて考える機会になりました。

その後、甲南大生協で人気のサンドイツと合宿往復バス中での課題発表でベストプレゼン賞になった「二押しドリンク」で食事をしながら、課題の検討、発表しました。最後に各店舗の店長より、後期からの取り組み課題等の発表があり、全体での情報共有ができました。研修後は感想や今後の目標を書いたレポートを提出し、西村先生にもご確認いただきました。後期を総合力でスタートさせるのに重要な研修になったと思います。

(通信員 中谷満子)

### “共に働き、共に捧げる”協同組合の本質を学ぶ

#### 兵庫JCC 第2回「虹の仲間づくりカレッジ」

2012年の国際協同組合年を契機とし、県下の生協・JA・JF・森林組合の4つの協同組合から構成される兵庫県協同組合連絡協議会(兵庫JCC)を中心に、次世代を担う職員同士が顔の見える関係をつくり、くらし、地域、社会のなかで果たすべき役割について、共に考えるための第2回セミナー(全3回)が、9月27日(火)、28日(水)にコープこうべ協同学苑で開催されました。

1日目は、NPO法人兵庫農漁村社会研究所 理事長 保田茂氏より「食育とは何か」についてご講演いただきました。2005年6月に施行された食育基本法や、親の責任として子に正しい食べ方を教えること、近い将来、親となる大学生が「食育」に対する理解を深めることの大切さ、理解には、経験と感動を通して納得しなければならないことを学びました。また「大学生に伝えたい食について」兵庫のおすすめ食材を出し合いながら、グループワークを行いました。

2日目は、大学生に伝えたいことや考えてほしいことを盛り込むための情報収集や実現可能な内容に企画を練り上げていきました。

受講生は、10月～12月にかけて、思いを伝える企画を実践につなげていきます。



NPO法人兵庫農漁村社会研究所  
理事長 保田 茂氏



図書室で情報収集を行いました

#### 【兵庫県協同組合連絡協議会(=兵庫JCC)】

生協、JA(農協)、JF(漁協)、Jforest(森林組合)など、兵庫県内の協同組合運動相互の連携、そして全国、海外の協同組合運動との連携をはかることを目的に1984年7月7日に設立されました。「人とひとの心がふれあう、暮らしよい兵庫をめざして～協同が息づくまちづくり～」を基本理念に活動しています。

JF

## JF 兵庫漁連

### ノリ採苗作業 はじまる!

ノリの陸上採苗作業は、気温が下がってきた9月下旬から行われており、各浜では朝早くから多くの人が作業をする光景を目にすることが出来ます。

JF 兵庫漁連（田沼 政男会長）では、明石市の兵庫のり研究所で9月23日(金)から、淡路のりセンターは9月28日(水)から作業が始まりました。

カキ殻に付着したノリ胞子を半年以上かけて育てたのち、カキ殻ごと海水の入った水槽に吊るし、水車に巻いた網を回転させて、胞子を付着させるのが採苗作業です。水温や光の量、胞子の状態などでカキ殻から放出される胞子数が変わるため、一網ごとに適正数が付着しているかを顕微鏡で確認しなければならず、適正数が付着した網を外すタイミングは、毎日、同じようにならない難しさがあります。

撮影のため兵庫のり研究所を訪れた10月3日は、台風接近の影響からか、朝から小雨が降る天気で、作業開始直後はやや鈍い出足となっていました。しかし、徐々に陽が昇るにつれて、次々に水車の網に付着し、ノリ胞子が付着した



胞子の付着した網が次々に外されていきます



今漁期への関係者の期待が高まります

網を水車から外したり、新しく網を張ったりするなど、担当職員らは業務に追われていました。

のり海藻本部 藤澤 憲二部長によると、明石・淡路の現場での作業は順調で、10月中旬までに両センターで種網約50,000枚を仕上げるとのことです。

本格的なノリ養殖開幕に、今漁期への期待が高まっています。

JA

## JA 兵庫中央会

### 生産者のこだわりを伝える 「ひょうごを食べる 農の現場から」 冊子を作成

JA 兵庫中央会は、毎日新聞兵庫面に毎月2回のペースで連載している企画記事を取りまとめ、「ひょうごを食べる 農の現場から」冊子を作成しました。

この企画記事は、本県の農畜産物に関する情報を県内の消費者に発信するため、県産農畜産物の特長や美味しい食べ方とともに、栽培等の工夫、生産者から消費者へのメッセージなど産地ならではの情報を紹介。今回作成した冊子は2015年1月から2016年4月までに掲載された30品目を紹介しています。

毎日新聞の土居 和弘・前神戸支局長は、冊子の序文に「『今が旬』の作物が兵庫県にはこれほどあるのかと驚かされます」「この連載が生産者と消費者をつなぐ一助となればと思っています」と寄せられました。

この冊子は消費者等に広く配布し、県産農畜産物、生産者のこだわり等を発信していきます。



産地から消費者へ情報を発信する  
「ひょうごを食べる 農の現場から」



最近の消費生活相談事例

## 不用品の訪問買取り ひとりで対応しないで

### 事例

「不用品を買い取る」という電話があり、靴を買い取ってもらおうつもりで訪問を承諾した。

訪れた男性は、靴はざっと見ただけで、「貴金属はないか。見積もるだけだから見せてほしい。」と言った。断ったが、帰ってくれないので、複数の貴金属を見せたところ、買い取るとしつこく言われた。根負けして売却を承諾してしまったが、後悔している。返してほしい。(60代・女性)

### 【アドバイス】

服や靴などの不用品を買い取ると言って個人宅に訪問し、貴金属などを買い取っていく不用品の訪問買取りに関する相談が依然多く寄せられています。

服や靴の引き取りを依頼したつもりで準備していると、家に入った事業者から服や靴はともかく「貴金属を見せてくれ」と言われた。高圧的な態度が怖く、貴金属を見せると、「売ってくれ」としつこく迫られ、早く帰ってほしいという気持ちで、売ってしまった—という事例が多くあります。

中には、家に上がり込み物色し始めたというケースや、身につけているイヤリングや指輪を外そうとしたケースもあります。家族が買取り後の契約書を見つけて、「大事な物だった」「取り戻せないだろうか」と相談されるケースもあります。

平成25年2月から、「訪問購入」についてもクーリング・オフが導入され、法律で定められた書面を受け取った日を含め8日以内であれば無条件に取り戻すことが出来るようになりました。また、このクーリング・オフ期間中は、物品の引き渡しの拒否もできます。

しつこい勧誘など、迷惑な方法で引き渡しを迫ることも禁止されています。

ただし、クーリング・オフが適用されない例外商品もあるので、注意が必要です。

自宅での不用品の買取りは、店頭で持参する必要がない点がメリットですが、デメリットとしては買取り価格の妥当性が判断しづらい点や断りにくい点などが挙げられます。

不用品の買取りを電話で勧誘されても、①安易に事業者を家に入れない、②利用するときは、対応は1人でせず、家族などに立ち会ってもらい、③売却したくない場合はきっぱりと断り、その場で品物を渡さないなど、毅然とした対応をしましょう。なかなか帰ってくれず困ったときには警察を呼びましょう。また、不安を感じたときは最寄りの消費生活相談窓口にご相談してください。(兵庫県生活科学総合センター)

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

## ヨッシーの窓

兵協連だよりをご覧のみなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江です。

さて、前々回のお話の続きをしたいと思います。アフィリエイト収入を得るためにホームページ作成契約をしてしまい、キャンセルができなくなったというトラブルの話でした。トラブルに巻き込まれたのは、20代女性のAさんでした。もともと、Aさんはインターネットで在宅の仕事を探していたところ、ある求人サイトに掲載されていたB業者から「Aさんの条件とは違いますが…アフィリエイトって知っていますか」と勧誘されたのでした。Aさんはアフィリエイトという言葉がB業者の説明で初めて知ったのです。B業者の説明はこうです。「ホームページを作って、B業者の説明通りにすれば、簡単に収入を得ることができる。」B業者は、Aさんにホームページを作成の契約を迫りました。悩みに悩んだAさんは、B業者の強い勧誘に負け、20万円のホームページ作成契約をしてしまったのです。20万円という代金は、クレジットカードで支払いました。けれども、Aさんのホームページは完成されず、もちろん、アフィリエイト収入も得られず、クレジットの請求がきてしまいました。

今回も字数がきてしまいました…。この続きはまた次回させていただきます。(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)

●シンポジウム ストップザ泣き寝入り2 ～もうだまってへんで！声を出して、つながって、強い消費者へ●

11月5日(土) 13:30～16:15 会場：三田市ウディタウン市民センター

12月3日(土) 13:30～16:15 会場：兵庫県民会館

連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C

TEL：078-361-7201 E-mail：office@hyogo-c-net.com



# MOVE

## 兵協連 第1回「東日本被災地支援活動」報告

# 被災地宮城県亘理郡山元町の今

兵庫県生協連では、「一般社団法人ING」の支援活動に合流する形で2013年度から宮城県亘理郡山元町への支援活動を継続的に行っています。これまでに、9回、延べ36名が参加しています。今年度1回目の活動を10月7日(金)～8日(土)に実施しました。コープこうべの岡田卓巳さん、宝塚医療生協の松本猶喜さん、全労済の金子木の実さん、兵協連事務局の三輪の4名がINGからの5名と共に参加しました。山元町の被害は、全壊2,175戸、死者・行方不明636名、浸水地域24平方キロと甚大なものでした。発災から5年半が経過し被災地の今を報告します。(数値データは河北新聞から転載しました)

### ●やまもと花釜秋まつり●

10月初旬の土曜日に花釜地域おいてみやぎ県南医療生協が中心になり「秋まつり」が開催されます。昨年までは旧JR山下町駅跡でしたが今年は3月に建設された「花釜区交流センター」に会場を移しました。あいにくの雨模様の中でしたが地域の人たち、支援者合わせて約300名が参加し、交流を深めました。

### ●JR常磐線新山下駅●

年末までにJR常磐線相馬駅～浜吉田駅間が5年半ぶりに開通します。内陸部に約1キロ移動した新山下駅周辺はバスロータリーができ、災害公営住宅、小学校、スーパー等の商業施設が集められ「つばめの杜地区」として新しい町づくりが進んでいます。

### ●仮設住宅●

山元町8か所の仮設住宅は3月末の平均入居率が22.9% (236世帯)となり、コミュニティの維持、防犯面でも問題があり町民グランド住宅の1か所へ移転する予定です。健康チェック活動で度々訪問したナガワ仮設住宅も全員が退去されました。山元町では災害公営住宅として490戸が計画され、約400戸が完成しました。

### ●支援センター●

この間支援活動の拠点であり、支援者の宿泊所も兼ねていた槻木の「みやぎ虹の架け橋復興支援センター」は解約し、新たに船岡駅前に民家をお借りしています。

### ●名取市関上地区●

日和山のある関上地区は区画整理事業と、住居エリアの高上げが進んでいました。その中で関上中学校も解体され震災の証人(遺構)がまた一つ消えていきました。

兵協連ではこの後12月、3月に活動を予定しています。会員生協と一緒に被災者の方々にとって少しでも住みやすい町ができるよう応援を続けていきます。



悪天候にも関わらず多くの方が来られました



新しくできた「花釜区交流センター」前で支援者のみなさん

### 編集後記

保健・医療・福祉研究会の研修として「あすなら苑」の「あすなら10の基本ケア」講座(P4参照)に行つてまいりました。初めて受ける介護研修、全てが新鮮でした。専門的な知識はないのですが、年齢を重ねるとともに出来ないことが増える中、ご本人の出来ることを見極め、更に出来ることを増やす生活リハビリの取り組みは素晴らしいと思いました。また、今ご対応いただいた施設長皆さんの穏やかな表情に、初めて訪れた場所でしたが、緊張することなくリラックスできました。相手を受け入れることが自然に行われていたと感じました。表情やわからなく、受け入れる姿勢を心掛けたいと思う。今日この頃です。(大戸)

### 県連日誌

- 11月8日(火) 兵庫JCC協同組合研究交流会 (朝来市)
- 11月9日(水) 兵協連第2回共済生協部会 研修会 (県民会館 鶴)
- 11月11日(金) 兵協連第19回監事研修会 (県民会館 1202)
- 11月14日(月) 兵協連第1回災害対策委員会 (県民会館 ばら)
- 11月15日(火) 兵協連第4回生活活動委員会 (県民会館 ばら)
- 11月21日(月) 兵協連第3回生活問題研究会 (県民会館 ばら)
- 11月25日(金) 兵協連第2回大学生協部会 (県民会館 ぼたん)
- 11月29日(火) 兵協連第3回保健・医療・福祉研究会 研修会 (大阪いずみ市民生協)